

第43回全国障害者技能競技大会

<123> パソコンデータ入力 当日課題

【すべての競技課題で共通のルール(必ず守ること)】

- ① 競技時間中に家族などから指導やアドバイスをうけないでください。
- ② 他の選手や競技委員の邪魔をしないでください。
- ③ 競技委員の説明が終わるまで、マウスやキーボードにさわらないでください。
- ④ 競技委員の説明がわからなかったときは、声を出さずに手をあげてください。
- ⑤ 競技中にパソコンが動かなくなったり、頭やお腹が痛くなったり、
気持ちが悪くなったりしたときには、声を出さずに手をあげてください。
- ⑥ 競技中は、おしゃべりをしたり、立ち歩いたりしないでください。
- ⑦ 公平を期すため、競技に用いる用具は持ち込まないでください。

ただし、ブランケット等の健康上必要なものであれば持ち込んでも大丈夫です。

- ⑧ 競技委員が「競技始め」と言ったら、競技を始めてください。
- ⑨ 競技で使うアンケートカードや書類は、よごしたり、おりまげたりせず、ていねいに
取りあつかってください。

※①～⑨のルールをまもらなかったときには、競技会場の外に出てもらいます。

【競技課題】

全部で3つの課題があります。

課題の順番は、

◆課題1 アンケート入力

◆課題2 文書修正

◆課題3 帳票等作成

です。

※ 課題1と課題2の後に、10分間の休けいがあります。

◆課題1 アンケート入力

競技前に、1枚だけ練習します。

練習では、NO.950 のアンケートカードを入力します。

【入力練習の準備】

画面上の「課題1」を開いて、手を止めて下さい。

「練習始め」と言ったら、アンケートカードの入力を始めます。

それまでは、これから確認する【入力ルール】をよく読んでください。

入力では、【入力ルール】をまもってください。

【入力ルールの確認】

今から1分間、入力ルールを確認します。

【入力ルール】

項目	ルール
①. 当店をどの程度、利用されていますか？	リストボックスより選んでください。
②1. 何名様でお越しになりましたか？	半角数字で入力してください。
②2. 誰とお越しになりましたか？	リストボックスより選んでください。
③. 召し上がった商品に関してのご意見、ご要望、ご不満点があれば教えてください。	全ての文字を全角で入力してください。
④. 当店に関してのご意見、ご要望、ご不満点等があれば教えてください。	全ての文字を全角で入力してください。
⑤1. フリガナ	全角カタカナで入力してください。 みょう字と名前の間には全角スペースを1つ入れてください。 (例) ヤマダ タロウ
⑤2. 氏名	全角文字で入力してください。 みょう字と名前の間には全角スペースを1つ入れてください。 (例) 山田 太郎
⑤3. 性別	リストボックスより選んでください。
⑤4. 年齢	リストボックスより選んでください。
⑤5. 職業	リストボックスより選んでください。
⑤6. 電話番号	半角数字と”-”（半角ハイフン）で入力してください。 (例) 12-345-6789
⑤7. メールアドレス	半角文字で入力してください。

ルール確認の時間は、終わりました。

これから3分間、アンケート入力練習を行います。NO. 950のアンケートカードの入力が終わったら、「OK」をクリックしてマウスやキーボードからは、手をはなしてください。3分たつと、入力の途中であっても、練習は終了します。

【アンケート入力 練習(3分間)】【アンケート入力 競技】

- ① 競技時間は、30分間です。
- ② 最初に画面上の「start」をクリックします。
- ③ 競技委員が「競技始め」といったら、NO.951のアンケートから入力を始めてください。
入力では、【入力ルール】を必ずまもってください。
- ④ 30分たつと、課題が自動的に終わりますので、「OK」をクリックしてキーボードとマウスから手をはなしてください。
- ⑤ 休けいは、競技委員が「休けいしてください」と言ってからです。作業が終了しても、そのまま席でまわっててください。

◆課題2 文書修正

練習はありません。

最初に修正ルール確認をします。修正ルールを確認したら始めます。
競技時間は30分間です。

※メニュー設定はいじらないようにしてください。

文書修正では、【修正ルール】をまもってください。

【修正ルールの確認】

今から1分間、【修正ルール】を確認します。

【修正ルール】

項目	ルール
ひらがな	全角文字で修正します。 例：さまざまある→正解：さまざまある
カタカナ	全角文字で修正します。 例：にほん→正解：ニホン
英字	全角文字で修正します。 例：ABILITY→正解：ABILITY
数字	全角文字で修正します。 例：第I回大会→正解：第Ⅰ回大会

【修正ルール】確認の時間は、終わりました。

【文書修正 競技】

- ① デスクトップ上の「課題2」を開きます。
- ② 競技委員が「競技始め」といったら、【書類】をもとに修正を始めてください。
入力では、【修正ルール】を必ずまもってください。
- ③ 30分たつと、課題が自動的に終わりますので、「OK」をクリックしてキーボードとマウスから手を離してください。
- ④ 休けいは、競技委員が「休けいしてください」と言ってからです。作業が終了しても、そのまま席でまっています。

以下、当-7から当-12について

内閣府 令和4年6月7日 閣議決定資料

経済財政運営と改革の基本方針2022 について より一部抜粋

第3章 内外の環境変化への対応

1. 国際環境の変化への対応

（1）外交・安全保障の強化

国際社会では、米中競争、国家間競争の時代に本格的に突入する中、ロシアがウクライナを侵略し、国際秩序の根幹を揺るがすとともに、インド太平洋地域においても、力による一方的な現状変更やその試みが生じており、安全保障環境は一層厳しさを増していることから、外交・安全保障双方の大幅な強化が求められている⁸⁵。こうした中、同志国の集まりであるG7の政策協調が密接に行われるようになってきているとともに、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けた協力も一層重要になってきている。また、NATO諸国においては、国防予算を対GDP比2%以上とする基準を満たすという誓約へのコミットメントを果たすための努力を加速することと防衛力強化について改めて合意がなされた。

我が国は、次期G7議長国として、自由、民主主義、人権、法の支配といった普遍的価値に基づく国際秩序の維持・発展のための外交を積極的に展開する。ウクライナ侵略には経済制裁等により毅然と対応し、ウクライナ及び周辺国等への支援を強化する。「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向け、日米同盟を基軸としつつ、豪印、ASEAN、欧州、太平洋島しょ国等の国・地域との協力を深化させ、日米豪印の取組等も活用するとともに、TICAD8を通じアフリカとの連携を強化する。安保理改革を含む国連の強化、法の支配の確立、国際機関邦人職員の増強、国際裁判を含む国際法に基づく紛争解決、コロナ禍からの回復を含む地球規模課題への取組を推進し、人権問題、人間の安全保障、核を含む軍縮・不拡散等の課題に取り組む。

北朝鮮との関係では、日朝平壤宣言に基づき、拉致、核、ミサイルといった諸懸案を包括的に解決し、不幸な過去を清算して、国交正常化を目指す。

これらの取組を推進するため、時代に即した国際協力の在り方を模索するとともに、国際機関とODAを通じた国際協力を適正・効率的かつ戦略的に活用しつつ、ODAを拡充するほか、偽情報対策・戦略的対外発信、親日派・知日派の育成、デジタル化・情報防護、情報収集・分析力の向上等を推進し、外交力の強化に取り組む。

その基盤として、人的体制、財政基盤、在外公館の整備を図り、邦人保護体制等を含め外交・領事実施体制を抜本的に強化する。

また、前述の情勢認識を踏まえ、新たな国家安全保障戦略等の検討を加速し、国家安全保障の最終的な担保となる防衛力を5年以内に抜本的に強化する。

特に、スタンド・オフ防衛能力や無人化装備、宇宙・サイバー・電磁波領域を含む領域横断能力、機動展開能力、指揮統制・情報関連機能を強化するとともに、政府の他の枠組みも活用しつつ、民生技術を取り込み、AI、無人機、量子等の先端技術の研究開発を進める。

あわせて、防衛力の持続性・強靱性を確保するとともに、現有装備品を真に有効に活用するため、必要な弾薬の確保、装備品の維持整備、隊舎・宿舎の老朽化対策への

重点的な取組を進める。

加えて、装備品の取得に関し、国内の防衛生産・技術基盤を維持・強化する観点を一層重視するとともに、基盤強化のために装備移転に係る見直しを含めた所要の制度整備を行うなど、より踏み込んだ取組を検討する。

質の高い自衛隊員の十分な確保や処遇改善等を通じて人的基盤を強化するとともに、在日米軍再編及び基地対策の推進等を図る。

こうした様々な取組を積み上げ、将来にわたり我が国を守り抜く防衛力を構築する。

その際、本年末に改定する「国家安全保障戦略」及び「防衛計画の大綱」を踏まえて策定される新たな「中期防衛力整備計画」の初年度に当たる令和5年度予算については、同計画に係る議論を経て結論を得る必要があることから予算編成過程において検討し、必要な措置を講ずる。

「海洋基本計画」を改訂し、海洋観測・調査、海洋状況把握を含む海洋の安全保障等の取組を強力に推進するとともに、新たな国家安全保障戦略の策定の取組の中で、巡視船の増強、老朽代替の促進、無操縦者航空機を始めとした新技術の活用による監視能力の強化、人材育成等により海上保安体制を強化するとともに、海上保安庁と自衛隊の連携強化や海外の海上保安機関との協力体制の強化を図る。

（２）経済安全保障の強化

国家・国民の安全を経済面から確保する観点から、経済活動の自由との両立を図りつつ、安全保障の確保に関する経済施策を総合的・効果的に推進する。新たな国家安全保障戦略等の策定に当たり、経済安全保障を重要な課題と位置付ける。基幹産業が直面するリスクを総点検・評価し、脆弱性を解消するための取組を定式化し、継続・深化していく。

経済安全保障推進法を着実に施行すべく、速やかに基本方針を策定し、サプライチェーン及び官民技術協力に関する施策については、先行して可能な限り早期に実施する。

半導体、レアアースを含む重要鉱物、電池、医薬品等を始めとする重要な物資について、供給途絶リスクを将来も見据えて分析し、物資の特性に応じて、基金等の枠組みも含め、金融支援や助成などの必要な支援措置を整備することで、政府として安定供給を早急に確保する。基幹インフラの事前審査制度について、各省における事業者からの相談窓口の設置を含め円滑な施行に向けた取組を進める。シンクタンクを立ち上げるとともに、先端的な重要技術の育成を進めるプロジェクトを早急に強化し、速やかに5,000億円規模とすることを目指して、実用化に向けた強力な支援を行う。特許出願の非公開制度について、必要なシステム整備を含め円滑な施行に向けた取組を進める。

外為法上の投資審査について、地方支分部局も含めた情報収集・分析・モニタリング等の強化を図るとともに、指定業種の在り方について検討を行う。ロシアによるウクライナ侵略も踏まえ、新たな安全保障貿易管理の枠組みの検討も含めた先端技術を保有する民主主義国家による責任ある技術管理や、各種制裁の効果的な実施、経済的威圧への対応を含め、同盟国・同志国との連携を強化する。重要土地等調査法91に

基づき、土地等利用状況調査等を着実に進める。

国際共同研究等における具体的事例の検証等を踏まえつつ、重要情報を取り扱う者への資格付与について制度整備を含めた所要の措置を講ずるべく検討を進める。先端技術・機微技術を保有するなど、次世代に不可欠な技術の開発・実装の担い手となる民間企業への資本強化を含めた支援の在り方について検討を行う。日米首脳での合意に基づき、先端半導体基盤の拡充・人材育成に加え、2020年代後半に次世代半導体の設計・製造基盤を確立する。国際情勢の変化等を踏まえたサイバーセキュリティの確保に向けた官民連携や分析能力の強化について、技術開発の推進や制度整備を含めた所要の措置を講ずるべく検討を進める。政府が扱う情報の機密性等に応じたクラウドの利用方針を年内に定め、必要なクラウドの技術開発等を支援し、クラウド等に係る政府調達に反映する。

国家安全保障局を司令塔とした、関係府省庁を含めた経済安全保障の推進体制の強化を図るとともに、内閣府に経済安全保障推進室（仮称）を速やかに設置し、情勢の変化に柔軟かつ機動的に対応する観点から関係省庁の事務の調整を行う枠組みを整備する。インテリジェンス能力を強化するため、情報の収集・分析等に必要な体制を整備する。

（３）エネルギー安全保障の強化

ロシアによるウクライナ侵略を踏まえ、エネルギー安全保障の確保が諸外国でも改めて重要課題に浮上する中、エネルギーの安定的かつ安価な供給の確保を大前提に、脱炭素の取組92を加速させるとともに、エネルギー自給率の向上を図る。そのため、徹底した省エネルギーを進めるとともに、再生可能エネルギー、原子力などエネルギー安全保障に寄与し、脱炭素効果の高い電源を最大限活用する。また、電力需給ひっ迫を踏まえ、供給力の確保、電力ネットワークやシステムの整備などを図るとともに、脱炭素のエネルギー源を安定的に活用するためのサプライチェーン維持・強化、安全最優先の原発再稼働、厳正かつ効率的な審査を含む実効性ある原子力規制や、道路整備等による避難経路の確保等を含む原子力防災体制の構築を進めていく。

化石燃料・資源のロシア依存度低減や供給途絶への対策のため、ロシア以外の調達先の多角化や、主要消費国と連携した生産国への増産働きかけ、使用量低減対策を行う。また、石油備蓄放出の機動性向上やSS事業者の経営力強化、特にLNGについて国による調達関与の強化等を通じて、燃料供給体制を強化する。

また、レアメタル権益の確実な確保に向けた支援措置など安定供給体制の強化や、メタンハイドレート、海底熱水鉱床、レアアース泥等の国産海洋資源の確保に加え、金属鉱物資源等の安定確保に向けた資源循環の促進に取り組む。

（４）食料安全保障の強化と農林水産業の持続可能な成長の推進

我が国の食料・農林水産業が輸入に大きく依存してきた中で、世界の食料需給等を巡るリスクが顕在化していることを踏まえ、生産資材の安定確保、国産の飼料や小麦、米粉等の生産・需要拡大、食品原材料や木材の国産への転換等を図るとともに、肥料価格急騰への対策の構築等の検討を進める。今後のリスクを検証し、将来にわたる食

料の安定供給確保に必要な総合的な対策の構築に着手し、食料自給率の向上を含め食料安全保障の強化を図る。

気候変動に対応しつつ人口減少に伴う国内市場縮小や農林漁業者減少等の課題克服に向け、人材育成を始め農林水産業の持続可能な成長のための改革96を更に進める。

みどり戦略の実現に向け、2030年目標やみどりの食料システム法97に基づき、新技術の開発、有機農業の推進、環境負荷低減の見える化等を進める。

国内生産の維持・拡大のためにも、改訂輸出戦略98等に基づき、オールジャパンで輸出に取り組む認定輸出促進団体、輸出産地・事業者を支援するGFP、輸出支援プラットフォームの体制や活動支援等を強化する。

中山間地域等を含めた生産基盤の確保・強化、農山漁村の活性化に向け、スマート農林水産業の実装加速化、支援サービス事業の育成等の推進、改正基盤法による地域計画の策定、農地バンクを活用した農地の集積・集約化、担い手等の確保等の推進、デジタル技術を活用した農山漁村の課題解決のための枠組みの創設を行う。土地改良事業により農地の大区画化や汎用化・畑地化を進めるとともに、鳥獣対策、家畜疾病対策を推進する。地域食材を活用した高付加価値化を始め食品産業の持続可能な取組を進める。

再造林促進や林道等の生産基盤整備等を含む木材の安定的・持続的な供給体制の構築、CLT等の木材利用拡大を進める。

着実な資源管理、養殖業の成長産業化、漁業者の経営安定、漁船等の生産基盤整備、海業の振興等を進める。

(5) 対外経済連携の促進

(国際連携の強化)

多国間主義重視の下、人権を尊重し、環境にも配慮しつつ、自由で公正な経済圏の拡大、ルールに基づく多角的貿易体制の維持・強化に取り組む。同時に、資本主義に内在する課題を克服し、持続可能な経済社会を創り上げ、社会課題の解決を新たな成長の源泉とすることで、世界のSDGs達成に貢献する。

DFFTの具体的推進に向け、国際的なルール作りを進めるとともに、2023年日本で開催されるG7での一定の成果を目指す。また、WTO改革に積極的に取り組む。TPP11の着実な実施及び高いレベルを維持しながらの拡大に向けた議論を主導するとともに、RCEP協定の円滑な運用及び履行の確保に取り組む。IPEFについては、インド太平洋地域への米国の強いコミットメントを示すものとして歓迎し、我が国は米国及びASEAN諸国・インドを含むパートナー国と連携して地域の繁栄と経済秩序の構築に取り組み、加えて、米国にはTPP復帰を働きかける。日米経済政策協議委員会（経済版2+2）等も活用し、米国との経済分野での連携を深めるほか、EU及び英国との経済関係を更に強化する。また、「総合的なTPP等関連政策大綱」に基づく施策を実施する。投資関連協定やODA等の活用、海外ビジネス投資支援室（仮称）の設置等を通じ、企業の海外展開を促進し、コロナ後の世界での成長力強化を図る。また、予見可能性を高める国際協調の下、企業のサプライチェーンにおける人権尊重の指針を策定する。

技術開発やインフラ整備、技術標準、クレジット活用を通じて、A E T I等を強化・具体化しつつ、アジア・ゼロエミッション共同体構想の実現を目指すなど、気候変動・エネルギー分野のリーダーシップをとる。プラスチック汚染対策では、我が国の技術を活用し、条約交渉及び「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」を主導する。グローバルヘルス戦略に基づき、官民資金の拡充を図りつつ、感染症に対する予防・備え・対応の強化など世界の保健課題の解決に貢献し、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の達成を目指すほか、WHOとの連携について協議する。また、薬剤耐性対策において市場インセンティブなどの薬剤耐性菌の治療薬を確保するための具体的な手法を包括的に検討した上で結論を出し、国際的な議論において主導的な役割を果たす。デジタル化、サプライチェーンの強靱化、質の高いインフラ、水循環、環境保全、女性等の分野でも取組を進める。上記の取組やスマートシティ等の案件形成支援、公的金融の機能強化を含め、「インフラシステム海外展開戦略2025」に基づく施策を着実に進める。また、2025年大阪・関西万博、2027年国際園芸博覧会を始め、大規模国際大会等に向け着実な準備を進める。

（対日直接投資の推進）

旺盛な海外需要を取り込み、我が国経済の活力や長期的な成長力を高めるため、イノベーション創出やサプライチェーン強靱化等につながる対日直接投資を戦略的に推進する。対日直接投資残高を2030年に80兆円との目標達成に向け、投資先としての我が国の魅力を高める。あわせて、水際措置の段階的緩和のタイミングも捉えて、我が国のビジネス環境や技術の強み等についての内外への発信を強化する。

その際、海外企業が求める人材育成を強化するとともに、医療、教育等の面での外国人の生活環境の向上、行政手続のワンストップ化・デジタル化による効率化、法令・行政文書の英語化や理解の促進等の環境整備を進める。また、経済安全保障の観点にも留意しながら、DXやGXの推進、スタートアップの育成などに資する、プッシュ型の重点支援、日本企業の経営力強化のための外資誘致・活用等への支援、海外企業と地域の企業・大学等を結び付ける支援を行う。さらに、より多くの海外の金融事業者を我が国に呼び込むため、国際金融センターの機能を強化する。あわせて、国際仲裁の活性化を図る。

（外国人材の受入れ・共生）

高度外国人材の受入れや活躍を推進するほか、特定技能制度の受入分野追加は、分野を所管する行政機関が人手不足状況が深刻であること等を具体的に示し、法務省を中心に適切な検討を行う。技能実習制度について人権への配慮等の運用の適正化を行う。これらを含めて、制度の在り方に関する見直しの検討を行う。さらに、人道的な観点から真に庇護すべき者を確実に保護するとともに、送還忌避・長期収容等の課題解消を図る法整備に取り組む。これに加え、外国人が暮らしやすい地域社会づくりのほか、在留カードとマイナンバーカードの一体化の検討、日本語教育の推進や外国人児童生徒等の就学促進を含め、「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」等に基づき施策を着実に実施し、外国人との共生社会の実現に向けて取り組む。

2. 防災・減災、国土強靱化の推進、東日本大震災等からの復興

(防災・減災、国土強靱化)

切迫する大規模地震災害、相次ぐ気象災害、火山災害、インフラ老朽化等の国家の危機に打ち勝ち、国民の生命・財産・暮らしを守り、社会の重要な機能を維持するため、「国土強靱化基本計画」に基づき、必要・十分な予算を確保し、自助・共助・公助を適切に組み合わせ、ハード・ソフト一体となった取組を強力に推進する。中長期的な目標の下、取組の更なる加速化・深化のため、追加的に必要となる事業規模等を定めた「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を推進し、引き続き、災害に屈しない国土づくりを進める。

また、国土強靱化基本法の施行から10年目を迎える中、これまでの成果や経験をいかし、「5か年加速化対策」後も、中長期的かつ明確な見通しの下、継続的・安定的に国土強靱化の取組を進めていくことの重要性等も勘案して、次期「国土強靱化基本計画」に反映する。

近年の災害を踏まえ、盛土の安全確保対策の推進、災害に強い交通ネットワークの構築、豪雪時の道路交通確保対策の強化、建築物の安全性向上、無電柱化等を推進するとともに、激甚化・頻発化する水害・土砂災害や高潮・高波への対策として、流域治水の取組を推進する。インフラ老朽化対策やスマート保安を加速するとともに、DXの推進などによるTEC-FORCE及び气象台等の防災体制・機能並びに消防団を含む消防防災力の拡充・強化、次期静止気象衛星やデジタル技術等を活用した防災・減災対策の高度化、船舶活用医療の推進、医療コンテナの活用を通じた医療体制の強化、地方自治体によるタイムライン防災の充実強化を図るための気象防災アドバイザーや地域防災マネージャーの拡充、学校などの避難拠点等の防災機能強化や熱中症対策を含む環境改善、被災者支援等を担う人材の確保・育成、要配慮者避難や災害ケースマネジメントの促進等の地域防災力の向上や事前防災に資する取組を推進する。気候変動に伴う災害リスクへの対応に関するグローバルな新事業機会の創出を推進する。

(東日本大震災等からの復興)

東北の復興なくして、日本の再生なし。復興庁を司令塔に、「「第2期復興・創生期間」以降における東日本大震災からの復興の基本方針」等に基づき、被災地の復興・再生に全力を尽くす。地震・津波被災地域では、被災者の心のケアなど残された課題に取り組む。原子力災害被災地域の復興・再生には中長期的な対応が必要であり、今後も国が前面に立って取り組む。東京電力福島第一原発の廃炉及び環境再生を安全かつ着実に進める。ALPS処理水については、基本方針125及び行動計画126等に基づき、引き続き、地元等の声を受け止め、科学的知見に基づくモニタリング等を含む安全性への理解の醸成や漁業者等の事業の継続・拡大への支援など、必要な対策に万全を期す。住民の帰還促進と併せ、移住・定住の促進を図る。

◆課題3 帳票等作成

練習はありません。

競技委員の説明が終わったら、すぐに競技を始めます。

競技時間は30分間です。

【帳票等作成 競技】

① Excelを使って、【指示書】のとおりに請求書をつくります。

② 【指示書】は、2枚目にありますが、合図があるまで開かない^{ひら}てください。

③ 競技委員が「競技始め」と言ったら、1枚目をめくって、【指示書】どおり^どに請求書をつくってください。

④ 30分たって競技が終了するまで、課題3は提出できません。

はやく終わった人は、まず請求書を保存してから、まちがいないか、もう一度よく見なおしてください。

⑤ 30分たつと、課題が自動的に終わりますので、「OK」をクリックして、キーボードとマウスから手をはなしてください。

課題終了後は印刷できません。

終了5分前に「5分前です」と言います。

ではこれから競技をはじめます。

【指示書】

1. 帳票作成の準備

- ① デスクトップ上の「課題3」を起動してください。
- ② ワークシート「Sheet1」を表示してください。
- ③ セルA1にあなたの席の番号を入力してください。

2. 帳票作成の目的とルール

- ① この指示書を読みながら、見本と同じ帳票をつくるのが目的です。
指示されたとおりに操作してください。
文字や数字の内容は、すべて見本のとおりに入力してください。入力するセルの位置も見本と同じにしてください。また、罫線の位置や太さも見本と同じにしてください。
- ② データを入力するときは、データの最後にスペースをつけないように注意してください。
たとえば、「請求書」のようにスペースをつけず、「請求書」と入力してください。
- ③ 特に指定のないときは、文字のフォントや配置は、最初の設定のままにしておいてください。
最初の設定では、フォント「游ゴシック」、サイズ「11」、表示形式「標準」です。
また配置は、横位置「標準」、縦位置「中央揃え」です。
- ④ 漢字、ひらがな、カタカナは全角で入力してください。
- ⑤ 英数字、記号は半角で入力してください。半角の記号とは、-:/,.()
などです。

3. 帳票作成に必要な詳しい指示

- ① 「請求書」の文字は、フォント「MS 明朝」、サイズ「20」、「太字」に設定し、セル範囲B4:F4で「セルを結合して中央揃え」にしてください。
- ② セルB9では、サイズ「14」、「太字」、「下線」を設定してください。
また、「御中」の前に全角スペースを1つ入れてください。
- ③ セルF18のみょう字と名前の間に、全角スペースを1つ入れてください。
- ④ セルE15からE17、セルB24からB26、セルD52からD54の配置は横位置「右詰め」にしてください。
- ⑤ セルF7、C24、C26は セルの書式設定 の 表示形式 から、分類を「日付」にして、種類は「グレゴリオ暦」の「2012年3月14日」にして、配置は横位置「左詰め」にしてください。
- ⑥ セルB22からC22までの範囲に、サイズ「14」、「太字」を設定してください。
また、セルB22の配置は横位置「中央揃え」にしてください。
- ⑦ セルB29からF29、セルE43からE47の配置は横位置「中央揃え」にしてください。
また、セルE43からE47は「太字」に設定してください。

- ⑧ セルF30からF42までの金額は、計算式「金額=単価×数量」を使ってください。
- ⑨ セルF43の小計金額は、関数を使って求めてください。
- ⑩ セルF44の値引きは「-1250000」として、セルの書式設定の表示形式から分類を「数値」にして、種類は「△1234」を選択して、桁区切り(,)にしてください。
- ⑪ セルF45の値引き後計は、計算式「小計+値引き」を使ってください。
- ⑫ セルF46の消費税は、計算式「消費税=値引き後計×0.1」を使ってください。
- ⑬ セルF47の合計金額は、計算式「合計=値引き後計+消費税」を使ってください。
- ⑭ 単価、金額、小計、値引き後計、消費税、合計の数字は、セルの書式設定の表示形式から分類を「数値」にして、桁区切り(,)にしてください。
- ⑮ セルC22のご請求金額は、セルF47の合計金額を参照するようににしてください。また、リボンにある「通貨表示形式」ボタンを使用して、¥マークと3桁区切り(,)を設定してください。
- ⑯ セルE53の配置は横位置「左詰め」にしてください。
- ⑰ 入力したデータが全部表示されないときは、全部表示されるように列幅をなおしてください。

4. 保存

作成した請求書を、ファイル名「20231118請求書」でパソコンのデスクトップに保存してください。

5. 印刷

- ① A4用紙縦方向で印刷してください。
- ② 用紙の中央に印刷されるようにしてください。
- ③ 印刷した請求書の内容を確認し、まちがいがあったら、修正して印刷することができます。

6. 見直し

はやく終わった人は、まちがいがいないか、もう一度見直してください。

7. 画面表示

競技時間が終了すると画面が自動で閉じます。競技会場から退出するときは、そのままにしておいてください。

	A	B	C	D	E	F	G
1	席の番号						
2							
3							
4							
5							
6						No.23X0501B	
7						2023年11月18日	
8							
9							
10							
11							
12						株式会社セントレアキャピタル	
13						〒485-0825	
14						愛知県小牧市下末1636-2	
15						TEL: 0568-79-0511	
16						FAX: 0568-79-0514	
17						担当: 法人営業部カスタマー事業課	
18						大野 波留	
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							

この度はありがとうございます。
下記の通りご請求申し上げます。

ご請求金額

納入日: 2024年1月31日
納入場所: 御社ご指定の場所
支払期限: 2023/2/29

商品コード	商品名	単価	数量	金額
SF9i5SSD256	SurfacePro9	158,000	21	
IPS271E1D	27インチIPSパネルモニタ	17,800	21	
UVPLSNOT	セキュリティソフト	4,980	21	
MO21PQP	Office2021ProPlus	12,000	21	
MO21DK	ディスクキット	3,200	1	
RJRB08VCH	ワイヤレスBluetoothマウス	3,000	21	
BSHDMI10BK	HDMIケーブル	1,000	21	
SEW18R9	セキュリティワイヤーロック	4,000	21	
CARIPSON500	A3カラーレーザープリンタ	148,000	1	
A4SATEMLP	A4モノクロレーザープリンタ	89,800	1	
BI15PROJ	ビジネスプロジェクター	138,000	1	
SCR100SO	携帯型ロールスクリーン	78,000	1	
	設置工事一式	200,000	1	
			小計	
			値引き	
			値引き後計	
			消費税	
			合計	

お手数ではございますが、お支払いは下記銀行口座へお振込みください。

銀行名: セント銀行	口座種別: 普通口座
支店名: 名古屋本店	口座番号: 2307128
	口座名義: カ)アイチスカイ

※恐れ入りますが、振込手数料は、御社にてご負担いただきますようお願い申し上げます。